#### 【特別寄稿】

### Career design in US

### 米国におけるキャリアデザイン

Janice Morand, PhD

ジャニス モランド博士

米国西海岸にあるUC Davisで20年以上、大学院生のキャリア支援を担当されているモランド博士に特別寄稿いただきました。理系大学院生に向けての博士のアドバイスを参考に、米国でのインターンシップやポスドク挑戦の第一歩を踏み出されてはいかがでしょう。



#### Message from Dr. Morand:

This article includes the following topics: (1) Internships in US (2) Application Materials (3) Tips for Success (4) Postdoctoral research opportunities. Internships support the career development of graduate students by allowing them to use their acquired analytical and communication skills in new work environments while expanding their professional networks. Here I present an overview of internship opportunities in the United States and offer suggestions for preparing effective application materials.

#### モランド博士からのメッセージ:

本稿では(1)米国でのインターンシップ,(2)応募書類,(3)応募成功秘訣,(4)ポスドクの応募について紹介します。インターンシップは大学院学生のキャリアデベロップメントを下支えします。自身の持つ分析力やコミュニケーションスキルを新しい職場環境で活用できるようになり、また職業上のネットワークの拡大につながるからです。今回は米国でのインターンシップについて概説し、効果的な応募書類準備について紹介します。

# Dr. Janice Morand PhD, Biochemistry, Purdue University BA, Biology, Central Methodist University Current Role: -Associate Director, Internship and Career Center, University of California, Davis -Over 20 years of experience in career development and management -Expertise in professional development for undergraduate students, graduate students and postdoctoral scholars -jxmorand@ucdavis.edu



#### Janice Morand博士 自己紹介

Purdue大学 博士 (生化学), Central Methodist大学学士 現在の職務

- UC Davis インターンシップ・キャリアセンター 副所長
- 20年以上のキャリア支援とキャリア業務管理
- 一 学部生/大学院生/ポスドク対象の職業展開を支援

#### 何故インターンシップを行うのですか?

- 一 キャリアの選択肢を知る
- 一 新しい仕事の環境に挑戦する
- 一 スキルを獲得または強化する

著者紹介 Associate Director, Internship and Career Center, University of California, Davis E-mail: jxmorand@ucdavis.edu

# Internships are in a broad range of fields Research Business Communication (science and technical writing) Regulatory Affairs Intellectual Property Policy – Government and NGOs (non-governmental agencies) etc.

#### インターンシップは広い分野に存在する

- 一 研究
- 一 ビジネス
- 一 コミュニケーション(科学技術ライティング)
- 薬事
- 一 知的財産権
- 一 政治(政府・非政府組織)など



#### 米国におけるインターンシップ(その1)

- A. 産業界(企業)
  - ・3-6か月、フルタイム(40時間/週)、有給
- B. 大学
  - ・10週間から1年
  - ・フルタイムかパートタイム(10-20時間/週)
  - ・有給または無給



#### 米国におけるインターンシップ(その2)

- C. 政府
- D. 非政府組織 (NGOs)
  - ・フルタイムかパートタイム
  - ・有給または無給

ただし、米国市民限定のケースが多い

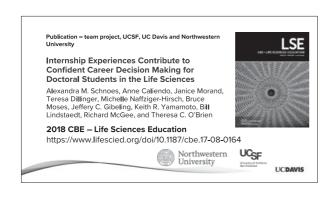


#### 米国におけるインターンシップ(その3)

#### インターンシップ例

AAAS マスメディア 科学技術フェローシップ

- ·10週間(夏季), 有給
- ・学部生、大学院生、ポスドク
- ・米国で勉学中の留学生も応募可(サマージョブの給 与受給可能なビザを有していること、本組織はビザ 取得支援は行わない)
- ・600ドル/週;交通費支給



## 

# Internships Increase Career Confidence A.M Schnoes et al. 2018 After O% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% (n = 23) I was very confident in my career choice in my career choice in my career choice UCDAVIS



#### 参考論文

 UC San Francisco (UCSF), UC Davis, Northwestern 大学共著

インターンシップ経験はライフサイエンス領域の博士課 程学生のキャリア決断に貢献する.

著者 Dr. Janice Morand 含む3大学の教職員11名 2018 CBE – Life Science Education https://www/lifescied.org/doi/10.1187/cbe.17-08-0164

#### インターンシップは学位取得までの時間に負の影響なし

#### 左図参照

縦軸:学位取得までの期間(年)

横軸:左から、プログラム\*不参加、プログラム参加、

インターンシップ参加

結果:3群で学位取得までの年数,有意差なし

グラフ左: UCSF グラフ右: UC Davis

\*プログラム: UCSF GSICE program (A.M Schnoes ら 2018)

#### インターンシップはキャリア選択での自信向上に寄与

インターンシップに

参加前 21:35:44 参加後 58:28:14

左から「大変自信あり:かなり自信あり:迷っている」

#### 応募書類(1)

#### 必要な書類:

- ・カバーレター (送付状)
- ・履歴書・レジュメ
- · Reference (紹介先)·推薦状



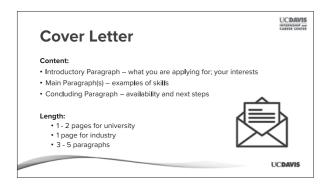
#### 応募書類(2)

- 読み手に合わせること
- ・よく練って書くこと、書き間違いのないこと
- スキルに焦点を合わせること
- ・ポジティブに、情熱を込めること

# Cover Letter - Purpose Introduce yourself Demonstrate interest Communicate fit Demonstrate writing skills

#### カバーレターの目的

- ・自己紹介
- ・関心事を伝える
- ・求める資質への相性を伝える
- ・ライティング力を披露



#### カバーレターの内容と長さ

#### 内容:

- ・イントロダクション:何に応募するのか;関心事
- ・主文:スキルを例示してアピール
- ・結び:面接可能日程、具体的選考ステップ確認

カバーレター作成の参考情報

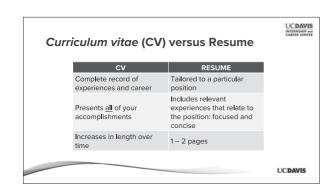
#### 長さ:

- ・大学向け1-2ページ
- ・企業向け1ページ
- ・3-5パラグラフ

### Resources for Cover Letter

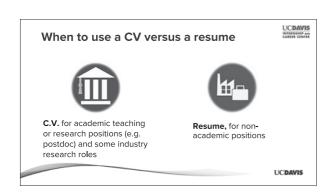
- https://icc.ucdavis.edu/materials/cover-letters
- https://www.insidehighered.com/advice/2017/12/04/how-write-good-cover-letter-essay
- <a href="https://www.imaginephd.com/">https://www.imaginephd.com/</a> (free account, see general resources)
- <a href="https://career.ucsf.edu/cvs-resumes-cover-letters">https://career.ucsf.edu/cvs-resumes-cover-letters</a> (see samples)

左のリンク参照



### 履歴書 (CV) とレジュメの違い

cv	RESUME
経歴と職歴の完全情報	応募職に照準を合わす
全業績を記載	応募職に関連した経験のみ 記載:焦点を合わせ正確に
新規経歴を更新 (長くなっていく)	1-2 ページ



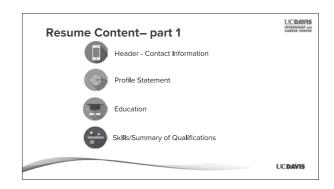
#### 履歴書(CV)とレジュメの使い分け

#### 履歴書(CV)

アカデミア教員職, 研究職 (ポスドク含む), 企業研究職

#### レジュメ

非アカデミア職



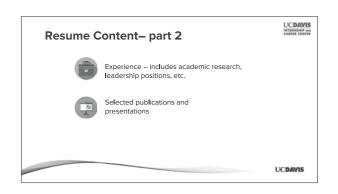
#### レジュメの内容(1)

ヘッダー:連絡先情報

プロフィール

学歴

スキル・資格のまとめ



#### レジュメの内容(2)

経験:アカデミアでの研究.

リーダーシップポジションの紹介など

出版物および発表情報(多い場合は、セレクト)

Resources for Resume

- <a href="https://icc.ucdavis.edu/materials/resume/samples">https://icc.ucdavis.edu/materials/resume/samples</a> (see section of advanced degree resumes)
- <a href="https://www.imaginephd.com/">https://www.imaginephd.com/</a> (free account, see general resources)
- <a href="https://career.ucsf.edu/cvs-resumes-cover-letters">https://career.ucsf.edu/cvs-resumes-cover-letters</a> (see samples)

UCDAVIS

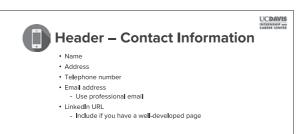
#### レジュメ作成の参考情報

https://icc.ucdavis.edu/materials/resume/samples
(advanced degree resumesの項 参照)
https://www.imaginephd.com/
(フリーアカウント, general resourcesの項 参照)
https://career.ucsf.edu/cvs-resumes-cover-letters
(samplesの項 参照)

#### **Resume Format**

- One to two pages
- Avoid templates
- Include white space
- 10-12 point font for body; larger font for name
- Most important information toward the top and left side
- Be consistent
- Use bold for emphasis
- Reverse chronological order by end date

UCDAVIS



UCDAVIS

#### レジュメ様式

- ・1-2ページ
- ・既成書式使用は避ける
- ・余白を含める
- ・本文10-12ポイント、氏名はより大きいサイズで
- ・最重要情報は上部左側に記載
- ・矛盾のないように―強調項目は太字
- ・記載は最近から年代順に

#### ヘッダー:コンタクト情報

- ・氏名
- ・住所
- · 電話番号
- ・E-mailアドレス (所属機関・大学のもので、私信用でないアドレス)
- ・LinkedIn URL (充実したページがある場合)



Profile Statement: 3-5 phrases summarizing experience, education, qualifications

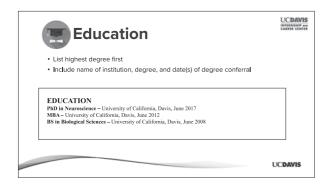
Immunology Ph.D. (2015) with 4 years industry experience in project management, strategic planning, research and development. Expertise in immunoassays and genomics. Highly organized, collaborative team-scientist with project management skills to complete projects on time and on budget. Expertise in autoimmune and chronic inflammatory diseases.

UCDAVIS

#### プロフィール

3-5 フレーズで、経験、教育履歴、資格など記載 (例)

免疫学Ph.D. (2015) 企業プロジェクトマネージメント, 戦略的企画, R&D部署で4年勤務. イムノアッセイとゲノ ミクスを専門とする. 高度に組織だった職務推敲力, 時間・ コスト意識を有するプロジェクトマネジャーのスキルを備え た協調的チームプレーサイエンティスト. 自己免疫/慢性炎 症性疾患領域の専門性.



#### 学歴

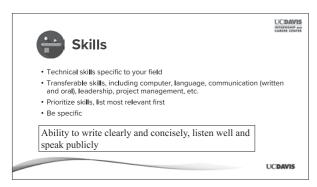
- ・学歴は高い順で
- ・研究所名、学位、学位授与日を含め記載

(例) 学歴

博士号(神経科学) 一 大学フルネーム 取得年月日

MBA (経営修士) 一 大学フルネーム 取得年月日

学士(バイオサイエンス) - 大学フルネーム 取得年月日



#### スキル

- ・自身の専門分野特有の技術スキル
- ・専門分野以外でも通用するスキル:コンピュータ,語学,コミュニケーション力(読み書き),リーダーシップ、プロジェクト管理など
- ・特筆すべきスキル:最重要スキルからリストする
- ・具体的に

(例) 明確かつ精緻な文章力、傾聴力、スピーチ力



#### 経歴(1)

- ・職種名,組織,所在地名,入学(入社)・修了(退社) 年月を箇条書きにする
- ・業績、経験を特筆すべきスキルと共に記載する
- ・担当職務の羅列は避ける



#### Experience

#### **Accomplishment Statements:**

action verb + context (interesting detail) + result + quantities (if applicable)

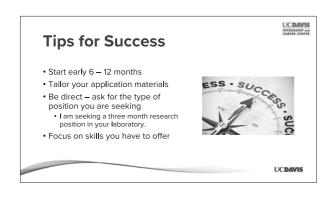
- Constructed a universal GFP reporter system for quantitatively monitoring bacterial horizontal gene transfer (HGT) in situ using Epi fluorescence, confocal microscopy and flow cytometry.
- Increased number of projects completed on time and within budget from 60% to over 95% by interpreting complex technical requirements.and improving communication between sales and technical groups.

#### 経歴(2)

#### 業績:

能動態動詞+内容 (関心事の詳細)+結果+量的記載 (可能な場合)

- ・例1 英語表現は左記 参照
- ・例2 英語表現は左記 参照



#### 成功の秘訣

- ・6-12か月前から準備開始
- ・応募資料を応募先に合わせ調整する
- ・直接的に

応募希望ポジションを明確に記載

- (例) 貴研究室の3か月研究ポジションに応募します
- ・自身が提供できるスキルに焦点を宛てて記載



#### 米国における博士研究員職

- ·大学,政府系研究所(NIH, CDC\*)
  - ・1-5年, フルタイム, 有給
    - \*Centers for Disease Control and Prevention: CDC
- ・産業界 (企業)
  - ・1-2年, フルタイム, 有給